

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2年後期	2	2	選択
担当教員			
津田 裕之			
添付ファイル			
講義概要			
直接外部から観察することが出来ない「心」を研究するには、どうすればよいのだろうか。そのような「心」について、これまでどのようなことが明らかになってきたのだろうか。 本講義では、ヒトの「心」を情報処理システムとみなす認知心理学的な立場から、心のはたらきについて解説する。まず、ヒトの神経システムの基礎知識を与え、ヒトが外界情報を取り入れ処理する過程で、神経系がどのように機能するかについて述べる。 次に、それらの処理の過程においてどのようにして心的体験が現れるかについて、感覚・知覚、高次認知（例：注意、記憶）を話題として取り上げ、解説する。また、他者や環境との関わりの中で、認知や行動がどのように影響を受けるかについて、社会心理学的な知見も紹介する。 なお参加者の要望や進行速度に応じて、内容は変動する可能性がある。			
授業計画			
1	心理学とは	心理学とはそもそもどのような学問なのかについて概観する。また、心理学史や、様々な心理学分野（例：認知心理学、社会心理学、学習心理学...）同士の関係についても紹介する。 [アクティブラーニング：①・②] [準備学習：事前にiLearn@SISTにアップロードした講義資料を見て予習する]	
2	神経システム	ヒトの脳と神経回路について解説する。ヒトの情報処理を支える神経の働きや脳の構造を理解する。 [アクティブラーニング：①・②] [準備学習：事前にiLearn@SISTにアップロードした講義資料を見て予習する]	
3	感覚・知覚1（色や明るさの知覚、恒常性）	色や明るさの知覚を生じさせるメカニズムや、安定した外界の知覚を可能にする恒常性のメカニズムを解説する。 [アクティブラーニング：①・②] [準備学習：事前にiLearn@SISTにアップロードした講義資料を見て予習する]	
4	感覚・知覚2（奥行の知覚）	3次元世界の奥行を知覚できるメカニズムについて解説する。 [アクティブラーニング：①・②] [準備学習：事前にiLearn@SISTにアップロードした講義資料を見て予習する]	
5	感覚・知覚3（顔の知覚）	顔を認識し、異なる他者の顔を識別するメカニズムについて解説する。 [アクティブラーニング：①・②] [準備学習：事前にiLearn@SISTにアップロードした講義資料を見て予習する]	
6	注意1	情報の取捨選択に関わる「注意」機能について概説する。 [アクティブラーニング：①・②] [準備学習：事前にiLearn@SISTにアップロードした講義資料を見て予習する]	
7	注意2	情報の取捨選択に関わる「注意」機能について解説する。特に、ボトムアップ・トップダウン・選択履歴の効果について説明する。 [アクティブラーニング：①・②] [準備学習：事前にiLearn@SISTにアップロードした講義資料を見て予習する]	
8	注意3	情報の取捨選択に関わる「注意」機能について解説する。特に、ワーキングメモリと注意の制御の関係について解説する。 [アクティブラーニング：①・②] [準備学習：事前にiLearn@SISTにアップロードした講義資料を見て予習する]	
9	注意4	情報の取捨選択に関わる「注意」機能について解説する。特に、認知機能トレーニングや、ワーキングメモリは可能かどうかについて解説する。 [アクティブラーニング：①・②] [準備学習：事前にiLearn@SISTにアップロードした講義資料を見て予習する]	
10	記憶1	「記憶」機能について解説する。特に、情報の記銘・保持・想起の3段階について解説する。 [アクティブラーニング：①・②] [準備学習：事前にiLearn@SISTにアップロードした講義資料を見て予習する]	
11	記憶2	「記憶」機能について解説する。特に、エピソードを伴わない記憶である「意味記憶」がどのように脳内で保持されているかについて解説する。 [アクティブラーニング：①・②] [準備学習：事前にiLearn@SISTにアップロードした講義資料を見て予習する]	
12	記憶3	「記憶」機能について解説する。特に、記憶の想起の正確性に影響する要因について解説する。 [アクティブラーニング：①・②] [準備学習：事前にiLearn@SISTにアップロードした講義資料を見て予習する]	

	1 3 社会的認知 他者や環境との関わりが認知や行動に及ぼす影響を解説する。 [アクティブラーニング：①・②] [準備学習：事前にiLearn@SISTにアップロードした講義資料を見て予習する] 1 4 意思決定 ヒトが直感的に意思決定できる仕組みや、その際の認知的バイアスについて解説する。 [アクティブラーニング：①・②] [準備学習：事前にiLearn@SISTにアップロードした講義資料を見て予習する] 1 5 感情・感性 ヒトの感情や感性についての理論的解説と、デザイン等への応用を紹介する。 [アクティブラーニング：①・②] [準備学習：事前にiLearn@SISTにアップロードした講義資料を見て予習する]
授業形態	講義および実習 アクティブラーニング：①:15回, ②:15回, ③:2回, ④:2回, ⑤:0回, ⑥:0回
達成目標	1) ヒトの神経システムについて理解する。 2) 感覚・知覚のメカニズムについて理解する。 3) 高次認知について理解する。 4) 感情・感性について理解する。
評価方法・フィードバック	上記「達成目標」と関係する内容についての期末試験（100%）。結果は講評の上、第15回目の講義内で告知する方法によりフィードバックする。
評価基準	上記の期末試験の成績により、以下の基準で成績を判定する。 秀：100～90 優：89～80 良：79～70 可：69～60 不可：59以下
教科書・参考書	教科書：なし 参考書：箱田裕司・都築誉史・川畑秀明・萩原滋『認知心理学』有斐閣 服部雅史・小島治幸・北神慎司『基礎から学ぶ認知心理学』有斐閣
履修条件	なし
履修上の注意	講義中に、リアルタイムで質問や感想を匿名で投稿できるWebフォームを開放するので、積極的に質問・感想を共有してほしい。
準備学習と課題の内容	講義スライドや、講義動画のURLは、前日までにiLearn@SISTにアップロードするので、予習・復習を推奨する（それぞれ1.5時間程度）。各回の講義後には、同じくiLearn@SISTに掲載されるフォームから、課題の提出や質問・感想の投稿を行う。
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:50%, 思考・判断:15%, 関心・意欲:15%, 態度:10%, 技能・表現:10%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	